精子特性分析レポートの見方

ＴＥＳＴ ＤＡＴＥ　：検査日　　ＴＥＳＴ　ＴＩＭＥ　：検査時間
ＰＲＩＮＴ ＤＡＴＥ　：印刷日　　ＰＲＩＮＴ　ＴＩＭＥ：印刷時間
ＩＤ　：識別番号　　ＢＩＲＴＨ ＤＡＴＥ　：誕生日
ＡＢＳＴＩＮＥＮＣＥ＿＿＿＿DAYS　：禁欲日数＿＿＿＿日（最終射精からの日数）

ＳＡＭＰＬＥ　ＤＡＴＡ　：　検体情報

ＡＣＣＥＳＳＩＯＮ　：　検体識別番号
ＣＯＬＬＥＣＴＥＤ　：　検体採取時間　　ＲＥＣＥＩＶＥＤ　：　検体受取時間
ＴＹＰＥ：　検体のタイプ（新鮮・調整・凍結・精管切除後 ）
ＶＯＬＵＭＥ＿＿＿＿ｍｌ＿＿＿＿：精液量＿＿＿＿ｍｌ（ミリリットル）
ＷＢＣ ＣＯＮＣ　<=1M/ml(normal) ・>1ml(abnormal)　：白血球（正常・異常）
ＰＨ：ペーハー値（測定、入力していない場合は無記入です）
ＡＰＰＥＡＲＡＮＣＥ　(NORM･ABNORM)　：　精液性状（正常・異常）
ＬＩＱＵＥＦＡＣＴＩＯＮ(NORM･ABNORM)　：　液化状況（正常・異常）
ＶＩＳＣＯＳＩＴＹ　(NORM･ABNORM)　：　粘　　度（正常・異常）

ＴＥＳＴ　ＲＥＳＵＬＴＳ　：　検査結果

WHO による正常値
ＣＯＮＣ．(Sperm Concentration)：精子濃度＿＿＿＿Ｘ１０^{6}/ml　[20X10^{6}/ml 以上]
MOTILIITY　：運動率＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿％　[50%以上直進]
PROGRESSIVE MOTILITY.　：　前進運動率
RAPID　<a>　速度が速く直進する精子＿＿＿＿＿＿＿＿％　[25%以上直進]
SLOW　<b>　速度が遅い又は直進性が不良な精子＿＿＿＿＿＿＿＿％
NONPRROG.　<c>　頭部又は尾部の動きはあるが前進していない精子＿＿＿＿％
INMOT.　<d>　非運動精子＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿％
＊MORPH.NORM.FORMS　：　正常形態率＿＿＿＿＿＿％　[30%以上正常]
正常形態率は精子の運動性から解析により算出された推定値になります。
正常形態率が 30%未満でも、PMSC(a)や SMI が高ければあまり心配は要りません。
MSC（Motile Sperm Concentration ）：運動精子濃度＿＿＿＿＿＿＿＿Ｘ１０^{6}/ml
PMSC（Progressive MSC）<a>　：高速前進運動精子濃度<a>＿＿＿＿＿Ｘ１０^{6}/ml
PMSC (Progressive MSC) <b>　：低速前進運動精子濃度<b>＿＿＿＿＿Ｘ１０^{6}/ml
FSC（ Functional Sperm Concentration）：機能性精子濃度＿＿＿＿＿＿Ｘ１０^{6}/ml
VELOCITY　：平均精子速＿＿＿＿mic/sec　[5mic/sec]
SMI　(Sperm Motility Index　)：　精子自動性指数＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

１ml の精液の中に存在する精子の数を精子濃度といい、その中で運動をしている精子の濃度を MSC と呼び、そのうち高速直進運動をしている精子の濃度は PMSC(a)と呼ばれ受精に最も深く関与しています。受精能力を判定するには運動精子濃度にスピードも考慮して数値化した SMI を判定に使うケースも増えています。
その判定の基準は下記の通りです。

SQA-Ⅴでの精子の判定基準

	SMI	PMSC<a> (x10^{6}/ml)	PMSC<a+b> (x10^{6}/ml)	FSC (x10^{6}/ml)
基準値	80 以上	5 以上	10 以上	3 以上

＊　WHO（世界保健機構）の調査では、精子の運動性や濃度は体調やストレス等により大きく変わることがあるので、今回虚弱に分類されてしまった方でも喫煙、飲酒、睡眠不足、ストレスなどを減らし再検査を受けることで正常値を得られることもあるので、あまり心配せずに体調管理を心がけて再検査を受けることをお勧めします。